

主な議案

○中通り大橋桁製作工事請負契約の締結について

可決

概要

中通り大橋の上流側二車線の桁製作工事請負契約を契約金額三億六百三十五万八千五百円で締結しようとするもの。

○財産処分(板橋上赤坂工業団地)について

可決

概要

新里町の板橋上赤坂工業団地の一部(面積約二万八千九百七十七平米)を工業用地として民間企業に売却しようとするもの。

一般会計予算の補正

◎平成22年度桐生市一般会計補正予算(第3号)

可決

概要

歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ1億5,339万円を増額補正して、予算総額を441億2,262万6,000円とするもの。

歳出予算の主な補正内容

- 庁舎管理費 9,928万8,000円の増額(庁舎非常用発電装置更新に係る経費の追加)
- 幼稚園管理費 1,760万2,000円の増額(相生幼稚園の整備に係る経費の追加)

決

議

この定例会では、次の決議案が議員により提出され、審議の結果、原案のとおり可決されました。

庭山由紀議員の暴挙を批判し、桐生市議会における健全な議会運営を回復させる決議

庭山由紀議員は平成22年第3回定例会の一般質問において、地方自治法第132条に抵触するおそれのある発言を行った。

また、質問を促す議長の采配を無視して独善的な発言を続けた。これは議長の議事整理権を侵し、議場の秩序を著しく乱す、議員としてあるまじき行為である。

庭山議員は平素から「ローカルルールには従わない」、「事実関係は調べないで情報発信する」と公言している。これを指摘されると庭山議員は「私そんなこと言いましたか。覚えがない。証拠があるなら文書で示せ」と発言したが、過去の会議記録を調べたところ、庭山議員の当該発言を記録した公文書の存在が明らかになった。

さらには、自身に発言の機会を与えられていないにも関わらず、自席から議員の常識と議場の良識に反する怒号を絶叫し、議場内にいる者の心胆を寒からしめる発言を行った。

これまで数を重ねる問責決議、懲罰を勲章だとする心理は、すでに常軌を逸しているものと思われ、桐生市議会はいずれ庭山由紀議員の暴挙を断じて許すわけには行かない。

以上、桐生市議会は市民と連帯し、市政発展のため、議会に課せられた責務と使命を改めて認識し、正常な判断力と議員同士の協調を基盤として、市議会における健全な議会運営を回復させることを決議する。

平成22年9月22日 桐生市議会

請願の審査結果

この定例会では、請願10件の審査を行い、その結果、7件が不採択、3件が閉会中の継続審査となりました。

◎不採択となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第44号	小規模契約希望者登録制度の改善を求める請願
産業経済委員会	第38号	EPA・FTA推進路線の見直しを求め日米FTAの推進に反対する請願
	第39号	米価の回復と価格の安定、ミニマム・アクセス米の輸入中止を求める請願
	第42号	備蓄米買入れと米価の回復・安定を求める請願
教育民生委員会	第35号	後期高齢者医療制度の即時廃止を政府に求める請願
	第45号	子宮頸がん予防ワクチン接種への公費助成を求める請願
	第46号	細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化を早期に求める請願

◎閉会中の継続審査となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第43号	「所得税法第56条の廃止を求める意見書」採択を求める請願
建設委員会	第41号	住宅リフォーム助成制度の創設を求める請願
教育民生委員会	第36号	現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める請願

桐生市議会議員政治倫理条例の制定に向けて

市議会では、議員の政治倫理の確立を図ることを目的とした「桐生市議会議員政治倫理条例」の制定を目指しています。

すでに条例案が概ねまとまっており、十二月定例会に議案として提出できるよう、準備を進めているところであります。

条例案の概要は、市のホームページ(桐生市議会)でご覧いただけます。

お知らせ

◆次回定例会の開催予定は **11月30日(火)です。**

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。平成22年第3回定例会の会議録は、12月上旬からご覧いただけます。なお、会議録は桐生市ホームページでもご覧いただけます。

再生紙を使用しております。